

キッズーム第2弾 振り返り

1. 日時 : 2020年8月17日(月) 19:00~20:00 過ぎ
ZOOM のち LINE 電話にて実施。
2. 参加者 : みこし、はっぼー、とーしー、ヒューマン
3. 振り返り内容や今後の展望(順不同)
 - ・オンラインの難しかった点
 - ※ 環境(音声や映像のフリーズ、途切れがちな点)
 - ※ メンバーへの働きかけ
 - ※ 時間管理…など
 - ・最終的に、踏むべき準備・手順は全て踏むことができた。全てのプログラムで、参加者全員がリタイアせずに完成できたのは、準備や練習のおかげ。
 - ・準備などのスケジュールには課題が残る。プログラムシートをはじめめ切ギリギリの提出が多い(今回に限ったことではないけれども)。進捗管理にかかるスタッフの負担は、参加者の意識で軽くも重くもなる。
 - ・それでも、ほぼ全員がプログラムを考案できた。実現しないものもあったが、それぞれのCoが考え、バラエティに富んだプログラムが考案されたのは良かった。同じ参加者が2つ、3つと異なったプログラムを体験することもできた。
 - ・プログラムに関しては、実際に自分で試作してもらうなどを経て、プログラムシートを作成することを求めたい。頭の中で考えただけでは、実際やってみると「思っていたのと違う」ということになりがち。
 - ・オンライン環境を、もっと活かせれば良かった。プログラムシートやレコード、打ち合わせの記録などをオンラインで集約したり、各自が好きな場所から参照できたりするようになれば、コペヤにわざわざ来る、などが必要なくなり、各自の進捗の負担も少なくなると思う。→ 今後に向けた課題。

・キッズーム第三弾を企画しよう。

- ・レクリエーションやクラフトを行ったので、それ以外、例えばキャンプファイヤーとか、体を動かすことを絡めたプログラムとか。
- ・「わっぱる」に行けるようになったので、「わっぱる」からの配信してはどうか?
- ・カウンセラーがメンバーと(バーチャルで)一緒に、わっぱるでクラフトしたり、場内を歩いたり、キャンプファイヤーの薪組をしたり、何かゲームで勝負したり…。いろいろとプログラムは考えられると思う。
- ・わっぱると一緒に、カウンセラーを知ってもらえる場になれば、参加したメンバーが「キャンプにきたい」と思ってもらえれば良い。